

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 7年 3月 3日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470101829		
法人名	社会福祉法人 あと会		
事業所名	グループホーム くにくさの家		
所在地	広島市安芸区阿戸町2941-1 (電話) 082-820-8088		
自己評価作成日	令和 7年 1月 21日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kunikusa.or.jp/service/group-home-kunikusa-no-ie/
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	運営推進会議による評価
所在地	
訪問調査日	令和7年2月26日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

グループホームくにくさの家は山々に囲まれた自然環境の中にあり、木の温もり・やすらぎのある家庭的な雰囲気のもと、個々の生活空間を大切にし、穏やかに・心ゆたかに暮らすことができます。一人ひとりのペースを尊重した支援を行い、それぞれの習慣にあった生活をおくられ喜びに繋がっています。阿戸町内で行われる祭りやイベントにも参加し地域との交流、世代間交流等を交えることにより地域の人と親しみをもち、意欲的な日々をおくられています。またその人らしい暮らしを最期までおくられるよう看取りケアにも対応しており、重度化や看取り期に際しては看取り介護指針を定め、ご家族・ご本人の意向を伺いご希望に添った看取りケアが行えるよう訪問看護・かかりつけ医との連携、協力体制を取っています。また大雨等の災害発生が予測される際には速やかに近隣の同法人施設の2階に避難を行い災害対策にも備えています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

ご利用者の日々の生活の中で自然と職員とのコミュニケーションを行うことができていると感じました。ご利用者と職員がコミュニケーションを図るため施設内には机を円卓にするなど、ご利用者がそれぞれ視界に入りやすく会話が生まれやすい工夫もされていると思います。ソファでくつろげるダイニングや畳の上で休息するための畳スペース、屋外で自然を感じることができるウッドデッキ等それぞれのシーンに合ったゾーニングができているように感じました。また施設内行事等の掲示も多くあったことからご利用者の皆さんがイベント事に楽しまれている様子がよくわかり、職員の方もご利用者との会話を楽しんでいるように感じました。施設周辺には川や山もあるため、水害やその他の災害時を想定した訓練が重要かと思われませんが、地域住民や近隣のくにくさ苑との連携もとられ定期的な訓練もされておられました。地域との交流も阿戸町である祭りや行事への参加等、交流の機会をできるだけとれるよう工夫がされていました。今後は世代間交流等を交えることにより地域の若い世代との交流により、意欲的な日々をおくっていただければと思います。また往診やかかりつけ医との連携によって、入院された方が無事施設へ退院されたケースもあることを確認しました。問診も個別で対応されておられ、職員間で変更点を共有することで細かな変化にも対応されておられました。人事考課制度についても項目事に細かく評価が分かれており、各自が目標を持ちやりがいを感じて働けるよう工夫され、個別面談も効果的に行われており職場環境の整備に努めておられました。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	社会福祉法人あとの会の理念3Yのころ(やすらぎ、よろこび、ゆたかさ)を半期に一度確認・共有し、職員間の意識統一を図りながらケアを行っています。また事業計画作成時に事業所理念に基づき各自その年の目標を設定し実践できるようにしています。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度は盆踊り大会・敬老会・八幡神社祭り・清掃活動などを通して地域との交流を行いました。また老人力の会等を通して地域の方々へ事業所からの情報発信を行いご理解・情報共有を行いました。	地域の行事に積極的に参加することによって、ご利用者本人や職員が地域の方々と直接会話でき、認知症の人への理解が得られるのではないか。また事業所からの情報発信によって事業所自体が地域の一員として日常的に交流ができるようになる。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	皆様には施設内を見学して頂いたり、ご利用者との交流も行ってもらえています。そこで出た意見をサービス向上に活かしています。	関係者の皆様実際に現場を見ていただく事によって、口頭では伝わりにくい部分を確認でき、意見交換を行うことでサービス向上に活かせることができています。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域包括支援センターとは2ヶ月に1度運営推進会議にて施設内を見て頂きご意見を頂いています。市には運営推進会議の報告を2か月に1度行っています。また事故や感染症の報告・相談を随時行い協力関係を築くようにしています。	依然として高齢者施設はクラスターが起りやすい場所ですので、日頃から広島市と連携することが大切だと思います。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の広島市の動画での研修を参考に勉強会やミーティングで職員全員が勉強する機会を設けています。また委員会により個々の事例について随時検討を行っています。玄関の施錠に関しては		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会の制限が緩やかになったため、玄関の施錠等リスクが高くなっているかと思いますが、引き続き職員全員が等しくサービスを提供できるように取り組んでいただければと思います。

				防犯上の理由の為現在は施設を行っています。			
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	勉強会やミーティングで広島市の動画での研修を参考にして職員全員が勉強する機会を設けています。また委員会により個々の事例について随時検討を行っています。話し合いの場を持ち、職員への意識付けを行い、意識の向上、ケアの質の向上に努めています。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自覚のない高齢者虐待が発生しないよう職員個々が意識していくことが重要かと思われます。入所されているご利用者が皆様穏やかな表情で過ごされているため、日頃からのケアの質は高いと感じます。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	勉強会を通し権利擁護に関する制度、成年後見制度について学んでいます。個別に提案を聞く機会を持ち必要なことを書面等で全職員に伝えるようにしています。また話し合いの場を持ち、職員の理解を深めています。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時にはご本人、ご家族と十分に話し合う時間を設け説明を行い質問を伺い納得のうえで契約を行っています。また、制度の改正時などは文書を送付し更に口頭で説明を行い、ご理解納得をしていただけるよう努めています。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に重要事項説明書に記載してある項目の説明を行っています。また法人内に苦情・要望検討委員会を設置しており、ご家族に満足度アンケートを実施し、結果を運営に活かしています。また、事業所の入り口に意見箱を設置しています。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議の際に積極的にご家族の方へもご意見を聞かれています。引き続きアンケート調査やご意見箱での聞き取りを続けていただければと思います。

10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ミーティングや定期的な個人面談で意見や提案を聞く機会を持ち、事業所内だけではなく、必要時には法人に伝える等しています。また年度初めに事業計画を作成しその際職員の意見を取り入れるようにしています。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	管理者の職場環境・就業環境に対する研修を行っています。人事考課制度を取り入れ職員一人ひとりが目標を定め、やりがいを感じて働けるように努めています。また、半期に1度目標面談を行い、職員個々の勤務状況の把握を行い、意見を聞き働きやすい職場環境に取り組んでいます。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	就業環境が整っていない場合、それがご利用者様へも多く影響が与えられると思います。職員の笑顔や心のゆとりがご利用者様へも伝わるよう引き続き環境整備に努めていただければと思います。個々で目標を定めることも意識の向上へ繋がっていると思います。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	認知症実践者研修・高齢者虐待防止研修・認知症対応型サービス事業者研修等法人外の研修に随時参加の機会を設けています。法人内研修はターミナル研修・人事評価者研修等に参加し内容を共有するようにしています。		☐ A. 充分にできている ☒ B. できている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	内容を共有することは研修を受けた職員の理解度をさらに高める作業になると考えられるため、是非積極的に全ての職員に機会が与えられるとよいと思います。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	施設見学や新規ご利用者受け入れ時に他の事業所の職員との交流を行っています。見学に来ていただいたり、事前面談で見学させて頂いたりしています。法人内の他事業所との情報交換も行い、サービスの向上に努めています。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	洗濯干し・洗濯たたみ・テーブル拭き・食事の盛り付け・米とぎ・下膳の手伝いなど個々で出来る家事活動やレクリエーション活動など、その人その人に合った役割を			

				職員と一緒にいただいています。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ医や知人との関係が継続できるよう努めています。また外出の機会を持ちご希望の場所に職員やご家族と一緒にでかしています。	地域の知人や馴染みの人や場との関係継続の支援はしっかりとされていると思います。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者個々の意向に添うようコミュニケーションを図りケアに繋がっています。また、ご本人が希望や意向を職員に伝えることができないご利用者に関しては、ご家族の意向を伺うなどしてケアに活かしています。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の状態を日頃からよく観察・記録しミーティングや日頃の話し合いの中でケアの確認を行っています。半年に1回はプランの作成を新たに行っています。モニタリング時・介護計画作成時に関係職員やご家族、聞き取りを行うことができるご利用者にはご本人と話し合いを行い、課題、意向を検討しています。また、ご利用者の状態に合わせ随時カンファレンスを実施し、主治医の意見も参考に現状に合わせたプランの見直しを行っています。	現状に即した介護計画を作成することはご本人の生活を支える為にも大切なことなので、関係者との十分な話し合いは必要だと思われます。	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内の関係者のみならず、主治医や関係機関の職員からの意見も取り入れ、引き続き個性の高いプランの作成に努めていただければと思います。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃の様子を個別の記録に記入し、毎日各職員が記録に目を通しその情報を共有しています。ケアの変更がある際には話し合いを行いその結果も記録し実践に反映しています。気づきや状態		☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体調の変化等は日々変化していくものであり、個別記録からご利用者様の体調不良等を早期発見して適切な対応へ繋がられるよう引き続きよろしく願います。

				変化などを連絡ノートにも記入して申し送りを通じて職員間で共有し日々のケアや介護計画の作成、見直しに活かしています。			
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内の他事業所や協力医院と連携を図り、可能な限りニーズに合わせた対応ができるよう努めています。ご利用者の高齢化・重度化に対応できるよう職員の技術や知識の向上にも努めています。	既存のサービス以外にも様々なサービスがありますので、日頃からそれらのサービスを知る取り組みが重要と思われます。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の行事や知人との交流を通じて日々の暮らしを楽しまれておられます。	地域資源を把握するためにも情報提供・情報共有が行える運営推進会議の場が大切であると思われます。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人・ご家族の要望を伺いかかりつけ医を受診されています。ご利用者の加齢や重度化によって今までのかかりつけ医の受診が困難になられた際にはかかりつけ医の変更等の相談をご家族・医療機関と行っています。また、法人内の医師の定期回診、訪問看護による定期健康観察を行い協力関係を築いています。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院に際してはかかりつけ医からの紹介によって細かな情報提供・情報共有を行っています。また入院期間中・退院前には早期退院ができるよう病院の地域連携室等と細目に連絡を取り合ってその都度ご家族にも報告を行っています。中間カンファレンス・退院前カンファレンス等に参加し情報共有・情報交換を行っています。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	細かな連携を行うことはご利用者様とその家族にとって安心に繋がると思います。以前もかかりつけの診断によって早期に入院へ繋がったケースがあったと思います。引き続き情報共有に努めていただければと思います。	

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に重度化や終末期・医療に対する考え方のお話をさせて頂いています。事業所でできることの説明を行いご家族・ご本人の意向を伺っています。またご本人の状態の変化によってその都度ご家族と話し合いを行っています。終末期にはご本人、ご家族の希望に添った看取りケアが行えるよう、訪問看護、かかりつけ医との連携を取りご家族との話し合いの場を設けています。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	終末期において本人の意向をくみ取り自宅へ退所したケースがありました。今後もご利用者様とご家族の意向を尊重し、日頃から話し合う機会を作る機会も大切かと思われます。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変時の勉強会を事業所内で行い、急変時に対応できる実践力を身につけるよう努めています。また、緊急時連絡マニュアルを備えて職員が把握しています。また訪問看護と連携し日頃からご利用者の情報共有を行っています。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	災害時のBCPに基づいて研修・訓練を行っています。また火災は年に2回消防職員の指導のもと訓練を行っています。水害は大雨・台風の際は法人本部と連携し早めに近隣の法人施設の2階に避難を行っています。また運営推進会議を通じご利用者の状況をご理解していただき、火災時等のご協力をお願いしています。	大雨や台風時河川の増水が予測される際には速やかに近隣の同法人施設に避難されておられます。また農業用水路の水門の解放の管理を地元住民がされている等協力体制をとられています。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	実際に今年度に法人本部と連携し、2階への避難を実行されています。訓練を含めて動作確認を行っていることで、緊急時の行動もスムーズにできると考えられます。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法令遵守・プライバシー保護・権利擁護等の研修を行っております。またご利用者個々の生活歴・病歴を把握し人格を尊重し、個々に合った声かけ、対応を心がけプライバシーを傷付けないよう		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者個々の部屋のみならず、施設内では、屋外で過ごせる場所やソファ、畳の空間等があり、その人にあった対応ができていると感じる。

				うケアにあたっています。またミーティングで話し合い職員の意識統一を図っています。			
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者個々の生活歴や習慣、性格を把握し、個々のペースを大切にして支援しています。話を伺うことを大切にし、その時の体調や状態、ニーズに合わせた対応を行うよう心がけています。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1週間の食事のメニュー表を掲示しており、ご利用者といろいろなメニューの話をしております。デザートや飲み物等欲しいものがあればその都度伺っています。また準備や盛り付け食後の片付けなど個々に興味を持たれていることを職員と一緒に無理なく行っています。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者様と職員とと一緒に準備や食事をする事で、安心感や満足感が大きく向上しているように感じました。引き続き無理のない範囲で取り組んでいただければと思います。	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理栄養士の考えたメニューのもとに一人ひとりの状態、好みに合わせて食事形態や量、飲み物など工夫しています。おかずをあまり食べようとされないご利用者には細かく刻んで味噌汁に入れたりしています。日中一度にたくさん飲まれない方は夜間のトイレ後に少しずつ飲んでいただいたりしています。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後口腔ケアの声かけを行いご利用者個々の能力に応じた口腔ケアを行っています。ご自分でできる方も仕上げ磨き等をさせていただき口腔内の確認をさせていただいています。また、必要に応じて歯科往診で口腔ケアをされておられます。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔内を確認することは人によっては抵抗が強い方もおられると思います。残存能力を活かして継続して健康な生活が送れるよう引き続き、対応していただければと思います。	

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄の失敗を減らすため個々の排泄パターンを記録・把握し可能な限り声掛けを行いトイレ誘導を行っています。的確なタイミングでの声かけによって自力での尿意・便意の感覚を意識できるように支援しています。また便通に良い食べ物・飲み物を日頃から摂取して頂いたり、かかりつけ医に相談し内服薬で便秘の予防に努めています。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進委員会の際にもご利用者様からの要望に対して都度丁寧なトイレ誘導をしていました。食事や身体を動かす機会等、便秘の防止等に引き続き努めていただければと思います。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の要望に合わせて入浴して頂いています。入浴する日や時間を個々と話しある程度の目安を決めています。あらかじめ曜日や時間を決めた方が良いと言われた方は曜日と時間を決めご自分で着替えの準備をされたりします。その他の方はその都度相談しています。出来るだけ状態や希望、気分に合わせて対応しゆっくり入浴出来るよう支援しています。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ひとりひとりの今までの生活習慣に沿って休息して頂いています。日中昼寝をされたくないご利用者や食後は居室で横になりたいご利用者等、一人ひとりの生活習慣や年齢・体力等心身の状態やその日の調子を観察し適切なタイミングで休息の声掛けを行い休んでいただいています。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月の定期受診時に職員が付き添い主治医の先生からの問診を通して薬の説明を直接聞きその都度状態を確認しながら薬の変更等を行っています。いろいろな職員が受診に付き添って確認を		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	受診の付き添いを行うことで主治医と直接話をする機会へ繋がるためいい取り組みだと思います。また特定の職員のみがしないように工夫もさ

				行うことによって薬の内容を理解できるようになっています。またご利用者個々の服薬情報をファイルにまとめいつでも確認できるようにしています。薬の確認や変更点についてケース記録や連絡ノート、申し送りでも情報共有しています。			れているため引き続き、ご利用者様の適切な受診に繋がるよう努めていただければと思います。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者個々の能力やニーズ、状態に合わせて個別で役割や楽しみをもっといただき、生活の中で気分転換出来るよう支援しています。	洗濯干し・洗濯たたみ・米とぎ等家事が得意だった方・食事が好きな方、お話をすることが好きな方等それぞれの現在の状態に合わせて支援されておられます。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出の希望はその都度伺っています。毎日外の空気を吸いたい方は近隣の法人施設への毎日の定期便に職員と一緒に出かけられたりされています。散歩のご希望があれば近くの神社まで出かけたり、外の空気が吸いたい・景色が見たい時にはいつでもウッドデッキに自由に出入りできるようにしています。またご本人・ご家族の要望を伺い自宅や親せき宅などに出かけています。	近隣を職員の方と散歩をされたり、買い物をされたり、祭りや地域行事の見学など様々な外出をされています。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人のご希望があればご家族と相談の上、金額・管理方法を確認しご本人に所持していただいています。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人のご希望があればいつでもご家族や知人へ電話をかけられるようにしています。また手紙のやり取りにおいても個々に必要な援助を行っています。			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	建物内部は木の温もりと吹き抜けによる解放感、バリアフリーによる安心感で落ち着いた雰囲気の中生活できるよう工夫しています。共有スペースはフローリングのダイルーム・畳スペース・ウッドデッキとゆとりのある空間で安全面にも配慮し必要な個所に手すりを設置し床は段差のないバリアフリーとなっております。ダイルーム・畳スペースにはソファやテーブル、ウッドデッキにはベンチを設置してご利用者同士・ご利用者と職員が一緒にくつろぎやすい空間を作っています。畳スペースに上がる際には手すり付きの階段があり、安全に上り下りができるよう配慮しています。日常的に階段を使うことによって足の筋力維持に繋がっています。季節を感じられる作品を掲示するなど居心地の良い空間になるよう工夫しています。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	運営推進委員会へ行く度に施設内の掲示物が変わっており、見ていてとても楽しい気持ちになります。居心地のいい空間はご利用者のみならず職員に対してもプラスに作用すると思われるので、是非続けていただければと思います。
----	---------------	--	---	---	--	---	--

IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎日の暮らしの中でご利用者との会話を大切にしています。ご自分の思いを伝えられる方は思いを聞き、思いを伝えられない方は表情や声掛けの反応等から思いをくみ取り意向に沿った支援を行っています。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご本人・ご家族にお話を伺ったり、事前面接の情報、入居時のサマリーや生活歴などの情報をもとに、それぞれに必要なケア、支援を行っています。			

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の状況を把握するため日々のバイタル測定や訪問看護による健康観察、また定期的にかかりつけ医の受診・往診を受けております。体調不良時には訪問看護や医師に報告相談し、必要なケアや支援を受けています。また安全面・環境面についても個々の状態の変化に応じて必要なものは設置や購入し支援を行っています。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の状態変化を把握するためにも申し送りや記録、ノート等を適切に活用されていると思います。連携をスムーズにするためにも引き続き、情報共有に努めていただければと思います。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	これまでの習慣を大切にし食後のコーヒーや一番風呂、昼寝はしない又は昼寝は必ずするなど個々の希望を伺い、生活歴などの情報を参考にご自分のペースで楽しみをもって過ごせるよう支援を行っています。一人ひとりのペースを尊重した支援を行い、それぞれの習慣にあった生活を送って頂いています。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	これまで育てていた花や入所前にご自宅で使用されていた化粧台・イス・人形・楽器・ご家族の写真・作品等思い出のあるものを居室に飾られています。またここでの新たな思い出のものができればその都度居室内の身近なところでいつでも見れるようにしています。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご入所された後においても、運営推進会議等ご利用者様にとっての思い出の品が新たな見つかる積極的に居室へ飾られる提案をされていると思います。引き続き、ご利用者様が過ごしやすいように努めていただければと思います。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の散歩以外に敬老会・町民体育祭・町民祭り・神社の祭り等に参加・見学をすることができています。	近隣を職員の方と散歩をされたり、買い物をされたり、祭りや地域行事の見学など様々な外出をされています。		

46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	花の鉢植え・水やり・野菜の育成・洗濯干し・洗濯物たたみ・テーブル拭き・居室の掃除機かけ・シーツ交換・ゴミ出し・食材便に同行などの役割を持ち、季節の飾り付け・塗り絵・体操等をされるなど一人ひとりにあった役割・楽しみを持っています。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	話をすることによって脳を使い認知症の進行を少しでも抑える為にも会話はとても重要な要素の一つです。職員はご利用者一人ひとりの毎日の会話を大切にしています。できるだけ楽しい事・気分が良くなることを心がけています。また話しやすい雰囲気作りの為個々に合った話題の提供を行っています。席の工夫も行い同席の方との会話を楽しまれるようにしています。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議への参加も特定のご利用者様のみにならないよう工夫されていると思います。ご利用者様は居室に籠るのではなく、共有スペースへ多く出られている印象があります。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の知人の面会が日頃からある方や地域の行事に参加することによって知人に会うことができる方は、現在の様子や昔話をすることができています。	面会時や日頃から施設の隣の畑等で近隣の友人や知人に会われて話をされておられます。地域の行事にも参加されておられます。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域との交流もでき、職員と関わる時間も多くあり家庭的で落ち着いた雰囲気の中、一人一人の居場所を大切に安心した生活を送ることができていると思われます。	各ご利用者がそれぞれの日々の生活の中で、職員や地域との関わりをそれぞれのバランスで持つことができ安心の日々を過ごされていると思われます。	☒ B. ほぼできている A. 充分にできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域住民とのマッチングや地域イベントへの参加も積極的に検討することで、意欲的な生活を送れていると思います。ひろしま LMO によって地域のイベントが盛んになってきているため是非今後も参加していただければと思います。

(参考様式4)

事業所名 グループホームくにくさの家

目標達成計画

作成日: 令和 7年 3月 3日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	8	契約に関する説明と納得 現在ご家族と契約を締結できる職員が1名しかいない	もう1名契約締結ができるようになる	契約締結を行ってほしい職員と個別面談時に契約の重要性と現状を話し合い、契約書と重要事項説明書をよく読み込みポイントを伝える。理解が深まった時点で契約のシミュレーションを行い、その後実践に繋げる。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。